

特金 上げ下げ交錯、まだら模様

4月の特金スクラップ相場はまだら模様になっている。3月のLMEニッケル価格の平均値が前月比5.1%高となったが、為替の円高進行が重石となり、スクラップ価格の上げ余地は縮小。国内ミルの買値は反発したものの、その上げ幅は小幅にとどまった。一方、輸出大手は直近のニッケル急落でリスク回避姿勢を取り、全品種を値下げ。内外で対応が分かれる展開となった。

SUS316は高炉大手や専業大手が1kgあたり5円値上げ。ただ、全体的に需要は盛り上がりを欠き、在庫の不足感は目立っていない様子。ニッケルの急落で高炉大手などは当初買値の引き下げを示唆していたが、他社の値上げ措置を踏まえ、小幅に上方修正した。

一方、韓国向け輸出大手は9日から10円値下げを実施。韓国向けの需要が低調なほか、ニッケルが1万4千ドル台に急落したことで、先安気配を反映させたとみられる。



ある納入筋は「前月はスポットでの高値集荷が残っていたが、当面の在庫に目途が付いた模様で足元の買い気はやや後

退気味だ」と話す。

参考指標のひとつ、モリブデンのLMEスポット価格は1kgあたり20ドル前後を弱保合い。前月とほぼ同値圏だが、昨年11月以降はジリ安基調にある。

他の品種も価格対応はバラつき、上げ下げが交錯。高炉大手はSUS309を横ばい、SUS310を5円上げとしたが、専業大手は安値修正の観点から10~15円がた引き上げた。ただ、輸出大手は韓国向けの需要や売値が伸び悩むため、大幅な修正値下げを実施。直近ではSUS310などは国内向けに販売する動きも伝わる。

■鉛建値、3千円下げの33万6千円に続落

三菱マテリアは11日、鉛建値を1kgあたり3円下げの336円に改定した。月間推定平均は341.7円。

LME相場、他(現地10日)					
	10日前場	前日比(円/t)	在庫量	前日比	前月平均
銅	8,978.00	439.00	209,425	-2,500	9,731.07
鉛	1,867.00	47.00	242,450	6,850	2,033.71
亜鉛	2,622.00	88.00	121,800	-1,350	2,887.81
アルミ	2,343.50	58.50	446,325	-3,175	2,657.21
ニッケル	14,590.00	775.00	203,646	768	16,054.52
錫	31,150.00	1,525.00	3,195	-25	34,026.19
金(NY)	3,177.50	98.10	-	-	2,996.22
原油(NY)	60.07	-2.28	-	-	67.94
為替TTS(円/円)	144.54	-3.37	-	-	150.25

※金は1troy ounceあたり※原油は1バレルあたりの25年5月限※為替は日本時間4月11日のTTS

富士マテリアル、2025年度入社式を開催 初の高校生新卒採用

(大阪)レアメタルやレアアースのリサイクル事業を展開している富士マテリアル(本社=大阪府大阪市、西尾一社長)は1日、物流拠点の大正工場・倉庫(大阪市大正区)で2025年度入社式を開催し、今年度は初の高校生の新卒者1名を採用した。

入社式では西尾社長が冒頭で「富士マテリアルは昨年10月に富士興産から分離独立した新会社として、新たに新卒者を迎え入れることができ、大変嬉しい」とあいさつし、「これから先輩や上司の万全のバックアップで、育成に力を注いでいく。将来、活躍できる人材へと成長して欲しい」と新入社員にエールを送った。

同社は富士興産から分離独立以降、スクラップの集荷のほか、SDGs経営や働き方改革にも積極的に取り組んでおり、有休取得率100%の実現や定着率の向上などの成果を上げている。

こうした中、同社は若い世代を中心に環境問題やリサイクルへの関心が高まっていることに注目し、今後の業界の発展を見据え、成長が期待できる高校生の新

卒採用を決断した。昨年からの採用活動をスタートさせ、地元の高校に訪問し、就職希望の生徒向けの企業説明会では、高校生にも分かりやすい内容でレアメタル



新入社員との記念写真

のリサイクルの重要性を解説した。また夏休み中での応募前職場見学には3校から4名が来社し、生徒らは同社に大きな関心を寄せていた。こうした採用活動が実を結び、新卒者の採用を実現させた。

今後の採用について、同社のサポート業務を行っている富士興産の赤嶺和俊社長は「来年以降も将来性のある高校生の新卒採用を実施し、人材教育に注力する。今後も若い世代が入社してもらえるように、既存の社員からも支持されるような富士マテリアルの魅力を作っていきたいと考えている」と意気込みを話す。